

【主な質問・意見】

各会場で次のような質問や意見が出されました。

認定子ども園について

Q 認定子ども園を作る理由と地域保育所との関係をお聞かせ願いたい。

A 町といたしましては、新冠に住んでいる全ての子供たちを幼保一元化教育を進める認定子ども園でお受けして育てていきたいという希望を持っております。

しかし、一斉にこのことを進めようというのではなく、美宇地域保育所につきましては、平成24年3月までは、今と同じ状況で開設を続けたいと思っております。平成24年4月以降の開設につきましては、平成23年の秋に24年の申込状況を見ながら決断をしたいと思っております。いずれにしましても、地域保育所の開設要領に基づく開設条件を満たす間は、美宇地域保育所は開設したいと考えております。

朝日地域保育所につきましては、施設が老朽化し、保育をする状況としては相応しくない状況となっていること、また、朝日より大きな施設がないことから他の生活館等の集会施設では開設をせず、平成24年の3月末に閉所いたします。

Q 通園バスはステーション方式で行うのか。

A この件につきましては、昨年、人口閑散地域における光ブロードバンドサービス導入に向け、調査、研究をしますと回答をしております。町といたしましては、これまで電気通信事業者がありますNTTと市街地を含め、公的な整備ではなく、電気通信事業者のサービス提供で検討してきたところがございます。

この間、市街地において、光ブロードバンドサービスに加入の仮申込みを扱ったり、採算性を確保できない地域でのサービスに向けた方法や試算を繰り返し行ってきたところでございます。電気通信事業者の採算ラインは全世界の約20〜30%の加入が必要で、これを下回る場合は、民間事業者であっても公的機関が設置しても間違いなく赤字となることが先進自治体で起きている状況でございます。

町は、地域の情報化につきましては、将来の技術革新と実情を見据えた中で、その地域ごとにあった方法で整備することが限られた資源の中で必要なことだと考えているところでございます。特に、市街地で行った光ブロードバンドサービスの申込みにおきましては、仮申込みされた方が30人とサービス提供条件の400人を大幅に下回ったところでございます。また、市街地以外については、国の制度を活用していることも検討しましたが、本町におきましては、後年次における更新時に多

A この地区はここ、この地区はここというふうに関係を決めて保護者の方の送迎が短くなるようにしたいと思っております。ただし、個別の玄関先送迎は送迎時間を長くし、子供に負担をかけるため、いたしません。

Q 認定子ども園の関係で対象者全員の賛同は得られているのか。

A 認定子ども園そのものについては、反対というのはありません。保育料の問題、だとか通園時間の問題、だとか色々な心配をされている方もいらっしゃると思いますので、完全に今時点で全員の賛同を得られている訳ではありません。ただ、これからの説明会を開きまして、皆さんに理解を頂いた上で、進めたいと思っておりますが、今年、新しい建物もできますので、平成24年度に認定子ども園をオープンするというスケジュールは動かささないでいく予定をしております。

特定健診について

Q 健康診断事業で町から受診率を上げるために説明会を開きたいと自治会に声が掛かっているが、国保とそうでない他の保険加入者が半々なので、区別がつきにくい。そのため、どういふ方に集まってもらえばいいのかが分からない。また、個人負担の割引の範囲はどうなのかについても教えていただきたい。



額の経費が必要となることなどを考慮いたしますと通信網の整備は断念せざるを得ない結論に達したところでございます。しかし、山間地のISDNの現状の通信環境が昨今の情報化に対応できる状況にないことも十分承知しているところでございます。これに代わるしくみも、昨今の技術革新による衛星ブロードバンドサービスや将来は次世代携帯通信システムを利用したサービスが受けられる状況になりつつありますので、サービスに関する様々な情報の提供を行い、検討してまいりたいと考えております。

高規格道路について

Q 高規格道路について、報道もされていたが、どうなるのかお聞きしたい。
A 日高自動車道厚賀静内間におきましては、完成2車線による延長15キロについて事業化されており、日高町厚賀地区インターチェンジから大狩部地区を経由し、新ひだか町静内地区イン

A 制度が変わりまして、それぞれの保険を運営している保険者が被保険者の方々に対して、健診を受けさせるということになりました。これが特定健診ということになります。

したいがいまして、本来であれば、社会保険に加入している方は、社会保険を運営している保険者が被保険者に案内して、そして医療機関で受診をさせてということになるわけです。

町の場合は、国民健康保険加入者の方々を対象にしながら、呼び掛けをして健診を受けてもらうということになります。基本的には、町が国民健康保険被保険者の方々に呼び掛けをしますが、その中には、様々な保険に加入している方もいらっしゃると思います。それぞれの保険の方から、特定健診の受診券



ターチェンジまでとなっておりまして、平成20年7月に環境調査報告書の縦覧とルート公表が行われ、ルートの概要説明会が関係地権者を対象に実施されたところでございます。

平成21年度は、計画ルート沿いの地質調査をはじめ、用地測量調査が行われ、室蘭開発建設部において、関係地権者に調査に関わる立ち入りの承認を受けて、実施している旨の説明を受けているところでございます。この地質調査や測量調査は概算事業費として、3億5千万で実施されたところでございます。

平成22年度におきましては、既に新聞報道等でご承知のこととは思いますが、予算要求では0から1億円の範囲内となっておりまして、事業凍結か抑制かと言われておりましたが、先般、開発からの説明によりますと、凍結はありえないとの情報でございました。

国は供用開始が可能な区間を優先区間と位置づけしまして、富川のインターチェンジから門別本町のインターチェンジの5・8キロ区間を平成23年度の供用開始を目指した予算要求としております。予算概要を見ますと、約27億から33億の範囲で要求されるということでございます。そのような中でこの事業が進んでいるということでございます。概要としては、私どもが知り得ている情報として捉えていただければと思います。ただ、町も開発

というものが送られていて、それを持つて、それぞれの医療機関で受診をすることになっていきますが、町としては、国保の被保険者の方々を対象としながら、集団健診を行っています。その時に他の保険の加入者の方々が来られても、国保と同じような中で健診を受けてもらうということにしております。

ですから、基本的には国保に加入していないくても、町の集団健診には、他の被保険者の方々も国保の方と同じように健診を受けていただきたいと思います。

個人負担につきましては、あくまでも国民健康保険の加入者、新冠町の国保の加入者ということになっております。それぞれの保険の加入者にはそれぞれの保険の方から、特定健診の一部負担の説明がいつているはずですので、個人負担の区分に従って、負担金を納めていただながら健診を受けていただくということになります。

光ブロードバンドの整備について

Q 新冠町における、光ブロードバンドの整備を進めてほしい。昨年も要望しました。有利な事業（国からの交付金・助成金など）・モデル事業とならないかを、調査・検討しますとの回答がありました。現時点での情報などを含めて、協議できる方法を考えていただきたい。

地域説明会を早く実施するように要請もしているところでございますが、ご承知のとおり、地質調査或いは予備設計が終わらないとその説明会ができないということでございます。このたびの予算配分から当該ルートの事業進展は当分の間、望めないものと考えられますので、今後の動向については、私どもも注視をしていきたいと考えております。

